本部主催講座

活けるを観る、花。

いつも稽古場に花を活けてくださっている坂本さんと、花の稽古会をひらきます。

といっても、活け方を習う会でも、内観しながら花を活ける会でもありません。坂本さんが花を活ける姿を後ろから観て、活け終えた花を鑑賞する。それだけの稽古会です。

数学者の森田真生くんは、いま庭師になる修行をしているという。数学者が庭師になる、という響きに惹かれて話を聞くと、良い師匠に出会ったからだそうだ。その師匠は松にひときわ情熱を注ぐ人で、さぞ松の手入れが巧みなのだろうと思いきや、松そのものには一切手を入れないらしい。かわりに松のまわりを徹底的に掃除し、手を入れていく。そうして手入れを終えて松を見ると、触れてもいないのに松が変わっているのだという。

花も、上手に活けられると空間が変わる。無音だった空間に、ふと旋律が立ち上がるように。けれど、変わったのは本当に空間だけだろうか。僕は花が空間に作用するとき、実のところ変わっているのは、それを観ている自分の身体のほうだと思っている。私たちは花を通して、自分の体を観ているのだ。

花を観ることは、自分の体を観ること。それを経験するための稽古会です。

【日　時】　十二月一日（火）　十三時〜十五時半
【場　所】　狛江稽古場［東京都狛江市］
【主　催】　野口晋哉（狛江稽古場・技術研究員）
【ゲスト】　坂本慧子（普通会員）
【会　費】　二五〇〇円
【問合せ】　〇八〇―三二五三―八五二二　（佐草夏美）
jasminrule@yahoo.co.jp
※晴風学舎の会員でしたら、どなたでも参加できます。